

みなみたね

新 **生** **活** ガイド

めっかりもうさん



南種子町郷土館

〒891-3701

熊毛郡南種子町中之上2420-2

TEL (0997) 26-1111

FAX (0997) 26-0663

令和2年4月1日改訂

目 次

1. 概要	1
2. 町のガイドマップ	3
3. 上中市街地マップ	4
4. 主な年中行事	5
5. 方言	6
6. 民謡	7
7. 民俗芸能	8
8. 文化財（国・県指定）	9
9. 名勝八景	12
10. 施設	14
11. 文化協会・体育協会の紹介	25
12. 新生活運動の案内	26
13. 町民憲章・町民歌	27

南種子町の概要

■ 沿革

島間の横峯遺跡から3万年以上も前の蒸し焼き料理場跡と見られる礫群（れきぐん）が発見されたことから、私たちの祖先は後期旧石器時代から集落をつくり、生活していたことが想像されます。明治維新までの約700年間は平行盛の子孫が代々島主として種子島を治めており、赤尾木（現在の西之表市）を中心にして現在の大字に庄屋が置かれ、長い封建時代が続きました。

維新後明治12年、島間村、西之村、坂井村の3村連合役場が島間に置かれ、また、荃永村、平山村、中之村の連合役場が荃永に置かれ、村政が行われました。明治14年、坂井村が野間村役場の管轄となり、島間役場が廃止され、荃永村役場の管轄となりました。

明治22年4月、町村制施行により南種子村が誕生しました。明治23年から役場の位置が東方に片寄っているとの理由で移転問題が生じ、大正12年5月、熊本郡長の採択により役場を現在の上中に移転しました。昭和31年10月に町制を施行しました。

■ 面積・地勢

鹿児島から海を隔てて南へ153km、種子島の南端に位置し、総面積は110.40km²。東西南の三方が海に面し、北は中種子町を境に東西10.8km、南北12km、海岸線の延長43kmです。起伏の多い丘陵地帯で、中央は海拔200m、中央から西部にかけては、最も年代の古い古第三紀層が基盤をなし、その上部に火山灰が堆積しており畑地が多くなっています。また、東部は新第三紀層で河川が多く、流域の沖積層には水田が多く広がっています。

■ 位置

極北：北緯 30度28分（小平山谷切川）

極東：東経130度55分（大崎吉信岬）

極南：北緯 30度21分（門倉岬）

極西：東経130度25分（島間岬）

■ 人口と世帯数の推移

区 分	人 口			世帯数	1世帯当たり 平均人数
	男	女	計		
昭和40年	5,718	6,038	11,756	2,755	4.26
昭和50年	4,301	4,738	9,039	2,687	3.36
昭和60年	3,836	4,140	7,976	2,935	2.71
平成7年	3,589	3,833	7,422	2,910	2.55
平成17年	3,324	3,427	6,751	2,970	2.27
平成23年	3,079	3,196	6,275	3,025	2.07
平成24年	3,042	3,143	6,185	3,017	2.05
平成25年	2,981	3,077	6,058	3,012	2.01
平成26年	2,922	3,002	5,924	3,004	1.97
平成27年	2,839	2,906	5,745	2,727	2.10
平成28年	2,845	2,920	5,765	2,974	1.93
平成29年	2,791	2,881	5,672	2,939	1.92
平成30年	2,787	2,849	5,636	2,957	1.91
令和元年	2,774	2,806	5,580	2,942	1.89

■ 令和元年気象状況

(上中地域気象観測所)

要素名	気温 (°C)			降水量 (mm)	
	月平均	月最高	月最低	月合計	最大日降水量
1月	11.6	19.2	3.3	38.0	11.5
2月	12.9	22.6	6.9	201.5	27.5
3月	14.2	23.2	7.7	274.5	61.5
4月	17.2	27.4	9.3	355.0	95.0
5月	20.6	31.1	15.6	368.0	177.5
6月	22.4	28.4	18.3	382.0	70.5
7月	26.2	33.4	18.7	358.0	192.0
8月	27.0	32.5	22.3	368.0	112.5
9月	25.9	32.6	20.4	194.0	85.5
10月	22.3	29.4	15.7	177.5	54.0
11月	17.8	24.9	10.7	176.0	71.0
12月	14.1	23.6	6.4	255.0	73.5

南種子町のガイドマップ

- ①南種子町役場
- ②南種子町立中央公民館
(郷土館・生涯文化財センター・図書館)
- ③南種子町福祉センター
- ④南種子町農業者トレーニングセンター
- ⑤テニスコート
- ⑥河内温泉センター
- ⑦たねがしま赤米館
- ⑧公立種子島病院
- ⑨南種子町健康公園
- ⑩南種子町自然の家
- ⑪広田遺跡ミュージアム



南種子町の主な年中行事

行 事	日 時	内 容
ちようぎとう 町 祈 禱	1/1 地域で異なる	集落民の1年の家内安全や無病息災を祈る行事です。
成 人 式	1/3	町福祉センターで、町出身の新成人を祝う行事が開催されます。
く さい もん 福 祭 文	1/7 夕方～	新年を祝い、各家々の門松の前で1年の福を願う歌詞を歌って回る正月の行事。
かーごまー 蚕 舞	1/14・15 夕方～ 地域で異なる	その年の豊作・家内繁栄を願い、白頭巾に着物姿で女装した青年男子が各家々を踊って回る小正月の行事。(元来は、養蚕の繁栄を願ったもの)
町生涯学習大会	2月下旬	町福祉センターで、1年間の生涯学習活動のまとめとなる大会が開催されます。表彰や学習成果の発表・講演などが行われます。
茎永宝満神社 赤米お田植祭	4月3日	その年の豊作を祈願して、茎永の宝満神社近くのご神田で、全国でも珍しい「赤米のお田植祭」が古式豊かに行われます。
県民体育大会 熊毛地区大会	7月上旬	9月中旬に開催される県民体育大会の予選大会として、19種類の競技が熊毛地区の各会場で開催されます。
町ロケット祭	8月上旬	みこしパレードをはじめロケット太鼓・歌謡ショーなど、多彩なイベントが開催され、祭のハイライトである花火大会には町外からも多くの方々が訪れます。
町民大運動会	10月第2日曜	町前之峯陸上競技場で、ユーモラスな競技から本格的なタイムレースまで多種多彩な競技が各地区対抗で行われます。
町ふるさと祭	11/2・3	町福祉センター・農業者トレーニングセンター・前之峯陸上競技場の各会場で、舞踊や音楽などの舞台発表・書道や絵画などの展示発表・農林水産物の即売など、数多くの催物が開催されます。

南種子町の方言

■ 家族・社会・交際等に関するもの

オジ：夫・主人	バキー：妻・奥さん
ワー：あなた・君	ワンタチ：あなた達
オイ（ドン）：わたし・俺	オイタチ（ドンタチ）：私達
アイジョー：兄さん・若い男の先輩	アンネー：姉さん・若い女の先輩
ケナー：親類	トンミー：友達・親友

■ 動物・植物等に関するもの

カライモ：さつまいも・甘藷	フツ：ヨモギ
オオギ：サトウキビ	タカキビ：トウモロコシ
モハミ：ブダイ（魚）	トッピー：とび魚
ミナ：磯の巻貝（ニナ）	ナガラメ：トコブシ（貝）
ダクマ：テナガエビ	バックー：ヒキガエル

■ 時候や自然に関するもの

バンツケ：夕方	トシノヨーサ：大晦日
ホナク（ホメク）：暑い	ヒヤカ：寒い・冷たい
ハエンカゼ：南風	コナゲシオ：旧3月の大潮

■ その他、日常会話等に関するもの

メッカリモーサン：お目にかかります	こんにちは
ノッチーヨー：さよなら	オーキニ：ありがとう
アバヨー：驚いた時に発する言葉	オヨ：はい、わかりました
ネギル：叱る	ゴーラシカ：かわいそう
アッタラシカ：勿体ない	ナッシュェー？：どうして？
ヌラシカ：遅い・のろま	ハバシカ：素早い
タイソカ：きつい・難儀	モッタシカ：こわい
カルー：背負う	ナオス：片付ける・修理する
コガラス：からかう	ムジョカ：かわいい
ニーカ：新しい	エークラー：酔っ払い
ネキ：そば・近く	エズカ：良く働く
ハンキー：怒りっぽい人	オラブ：大声を出す
ヒッタマガル：とてもびっくりする	チット：少し
フレ：連絡	ホーカモナカ：とんでもない

南種子町の民謡

■ めでた節（祝い歌）

結婚式や落成式・敬老会など、お祝いの席で歌われます。

《歌詞》

1. めでた めでたの若松様よ 枝も栄ゆる 葉も茂る
2. なおも めでたの思うこと叶うて 末は鶴亀五葉の松
3. 峰の小松にひな鶴が 谷の巖に 亀舞い遊ぶ

■ 草切節（労働歌）

種子島を代表する民謡で、元々は草刈りの労働歌ですが、自然や人情、恋愛等様々な歌詞があります。現在は、祝宴の余興として歌われます。

《歌詞：平山地区》

行こやさ行こや 草切り行こや もんぱ畑の右ひだり
様はあの峯 わしゃこの峯に まねきあわして 草を切ろう
草を切るときゃ へこすだまぜて かからおしのけ その中を
馬を肥やさば ま茅の芽立ち 馬の瘦するは 荒すすき～・・・

■ よーかい（子守歌）

『よーかい よーかい』は、『よし よし』とあやす言葉で、種子島特産の鎌を売りに、屋久島へ出かけたまま長く帰らない父親を思いながら、赤ちゃんを寝かしつけている光景が歌われています。

《歌詞》

1. よーかい よーかい よーかいよ よおっとこの子が
寝たなれば 息をほっしと しょうものを
2. お前のとと様 何処行きやった あれは屋久島 鎌売りに～・・・

■ こっちこい（子守歌）

『おっかんよ・・・』という子供の呼びかけに対して、次は母親の返し歌なっており、母と子の優しい問答が繰り返されます。

《歌詞》

1. おっかんよ おまんかよ おら寝た間にも
波のひく間も 忘りやせんど こっちこい
2. 波のひく間も 忘れてなろか
5年このかた 抱いて寝とう こっちこい～・・・

南種子町の民俗芸能

南種子町は民俗芸能の宝庫で、9月下旬～11月上旬、上中・西之地区は毎年、島間・平山・茎永・下中地区は隔年、各地区の神社で収穫感謝の願成就祭が盛大に行われ、多くの民俗芸能が奉納されます。

■ 大踊

総勢30～50人ぐらいの男たちで踊られ、時間も40～50分と、とても長い踊です。踊の役は大太鼓・小太鼓・鉦に分けられ、勇壮な踊です。安城踊・さんご踊・しんご踊などの種類があります。

■ ヤートセー

歌の囃子として『ヨイヨイ』と『ヤートセー』があり、この囃子からヤートセーと呼ばれるようになったといわれています。基本的に女子が主体となって踊り、男子は大太鼓・入れ鼓・鉦などの楽器を担当します。

■ ヒョウタン踊

ヒョウタンを腰にぶらさげて踊るところから、そう呼ばれるようになったようです。地区によってはヒョットコのお面をかぶって、とてもユーモラスに踊られます。

■ 棒踊

鹿児島島の加世田方面から伝わった踊で、地区によっては鎌も使用したり、道化役の鬼がついてまわるところもあります。

■ 弁慶踊

牛若丸と弁慶の戦いを、踊りに仕組んだものです。

■ ナギナタ踊

仇討ちの物語を、踊りに仕組んだものです。

■ ちくてん

琉球から伝わった踊といわれています。



南種子町の文化財（国・県指定）

■ 広田遺跡（国指定 史跡） 広田遺跡出土品（国重要文化財）

1955年（昭和30年）の台風22号によって砂丘が削られ、海岸に土器や人骨が散乱していたのを、集落の人が発見したことがきっかけで調査が行われました。その結果、90基の墓と157体の人骨、さらにそれに伴う44000点以上の貝製品が発見されました。

また、2005～2006年の再調査でも20基の墓と3000点以上の貝製品やガラス玉などが発見され、2008年（平成20年）3月28日、広田遺跡は国史跡指定になりました。さらに、2009年7月10日、広田遺跡の出土品が国の重要文化財の指定を受けました。



■ 種子島宝満神社の御田植祭（国指定 無形民俗文化財）

玉依姫（たまよりひめ）を祭っている宝満神社では、毎年4月上旬、その年の豊作を祈願して『赤米』のお田植え祭りが昔ながらの方法で行われています。

赤米は茎の長さが160cm程もあり、この茎の長い赤米に因んで、『茎永』という地名がつけられたともいわれています。



■ 横峯遺跡（県指定 史跡）

後期旧石器時代の遺跡で、この遺跡の発見によって種子島でも旧石器時代から人々が生活していたことが確認されました。

その痕跡である礫群（れきぐん）は、私たちの祖先が蒸し焼き料理をした跡と考えられており、最も古いものは今から3万年以上も前のものです。



■ 罎口（県指定 考古）

お寺や神社でお参りする時、前につるしている布の縄を振って鳴らすものです。1426年（室町時代の応永33年）に長谷部徳永氏が事業の繁栄と海上安全を祈願して下中八幡神社に奉納したもので、直径30cm、胴の厚さ8cmの青銅製です。



■ 南種子町平山の座敷舞（県指定 無形民俗文化財）

いろいろなお祝いの席で舞われるもので、座にいる人たちの囃子をうけて、ユーモラスな振りまねと口上で舞われる楽しい舞です。

写真は座敷舞の中の『鳥刺舞』と呼ばれるもので、竿の先に鳥モチをつけて小鳥を捕まえる様子を舞にしたものです。昔は、全部で12種類の座敷舞があったといわれています。



■ 南種子町平山の蚕舞（県指定 無形民俗文化財）

小正月（1月14・15日）の夕方から夜にかけて、青年男子が白頭巾をかぶり、着物姿で女装して各家々を踊ってまわる正月の行事です。

元来は養蚕が盛んになるようにと、当時の殿様が行わせたものですが、現在は、家内繁栄や豊作を願う行事として伝えられています。



■ 種子島南種子町宝満池鴨突き網猟（県指定 無形民俗文化財）

種子島南種子町宝満池鴨突き網猟は、毎年1月15日～翌年2月15日までの猟期間に、宝満池周辺で早朝と夕暮れ時に行っている伝統的な古式猟法です。

猟の方法は、折りたたみ式で開くと三角形（扇状）になる突き網を使用し、鴨が宝満池と餌場の田んぼを往復する通り道の樹上から、飛来する鴨に向かって突き網を投げ上げ、捕獲するものです。このような猟は、江戸時代前期頃から行われているもので、とても貴重な風俗慣習です。



■ 南種子町河内の貝化石層（県指定 天然記念物）

上中の河内集落で、マガキが集団で生息した「カキ礁」と見られる大量のカキの化石や干潟に住むゴカイ類の巣穴（生痕）化石をはじめ、サルボウ・ヴィカリア・ウミナ・ヤマガメなど、たくさんの化石が発見されました。



これらは1600万年前のものと考えられており、当時、この一帯は浅い海で干潟が広がっていたと推測されます。

また、平成15年に発見されたイシガメの仲間は、台湾や中国、ベトナムに分布するハナガメに近い新種のガメであることがわかり、「タネガシマハナガメ」と命名されました。



タネガシマハナガメの化石

■ 南種子町のインギー鶏（県指定 天然記念物）

明治27年（1894）4月25日、イギリス船「ドラメルタン号」が暴風雨に遭い、下中の前之浜海岸に座礁しました。船底がかなり傷んでおり、その修理の期間、船員たちは下中の真所集落で厚いもてなしを受けました。インギー鶏は、船員たちの救助やそうしたおもてなしのお礼としていただいたもので、当時、島民がイギリス人のことを「インギー」と呼んでいたことから、そう呼ばれるようになりました。インギー鶏の最大の特徴は、尾骨はあるが尾羽が縮れて垂れ下がっており、一見、尾がないように見えます。こうした特徴を持つ鶏は、世界でも珍しいといわれています。



■ 銭亀遺跡出土品（県指定 考古）

銭亀遺跡では約7300年前の鬼界カルデラ由来の火山灰や火砕流堆積物の下に、旧石器時代の遺物と縄文時代早期の遺構や遺物が確認されています。旧石器時代の種子島は、わが国の細石器文化圏最南端の地域で、細石刃核や細石刃などが出土した銭亀遺跡がその南限です。さらに、接合資料により、円礫を分割し、割り取った素材から船野型細石刃核を製作する基本的工程が復元でき、他の地域との技術の比較も可能となりました。本遺跡出土品はわが国の細石器文化圏南端の様相を明らかにする貴重な資料で、旧石器時代の石器と接合資料29点が指定されました。



南種子町の名勝八景

①浜田海浜地一帯

この海浜地は波で浸食された奇岩の一帯で、中でも、波が引くと、千人の人々が座れるという広大な海食洞窟の『千座の岩屋』は、自然が長い年月をかけてつくりあげた壮大な芸術品のようです。また、夏は海水浴場としても知られ、多くの方々が訪れます。



②宝満の池一帯

宝満の池は周囲が約1230mもある大きな池（海跡湖）で、池のほとりには、赤米のお田植祭で知られる宝満神社があり、周囲は神域となっています。生い茂る木々が池を縁取り、遠くには海食奇岩の竹崎海岸が広がって絶景です。また、冬には数多くの鴨が飛来し、乱舞する様は一見に値します。



③宇宙センター及び竹崎海岸一帯

周囲を海と緑の美しい自然に囲まれた宇宙センターは、『世界の中でも美しい宇宙基地』といわれており、毎年たくさんの観光客が訪れます。特にカーモリの峰から見渡す眺望は絶景で、緑色のじゅうたんに敷きつめられた中に白く点在する施設の建物、周囲をエメラルドグリーン的大海とコバルトブルーの空がやさしくとりまき、まるで宇宙から地球を眺めているような光景が広がります。



④前之浜海浜地一帯

前之浜海岸は1892年、イギリスの帆船『ドラメルタン号』が漂着した異国交流の由緒地であり、その友好の証である「インギー鶏」は、今も大切に育てられています。現在海浜公園として整備され、展望台から眺める景色は美しく、雄大です。



⑤門倉岬と七色坂一带

鉄砲伝来の地で知られる『門倉岬』は、西に屋久島を一望し、東に竹崎の宇宙センターへと続く白砂青松の浜辺と紺碧の太平洋が広がり、絶景です。また、岬へ通じる坂道は、眼下に青く澄んだ海と湾曲した海岸を縁取る白い砂浜が広がり、保安林の緑、さらには周辺の水田地帯がおりなす四季折々の色彩が加わり、別名『七色坂』とも呼ばれています。



⑥宇宙ヶ丘公園からの眺望

宇宙ヶ丘公園は、自然豊かな中に各公園施設、イベント広場、テニスコートなどがあります。展望台からは、西方に屋久島連峰、東方にロケット発射台を望む雄大な景色が広がります。

また、ここはロケット打ち上げの見学場としても知られており、打上げ時にはたくさんの見学者で賑わいます。



⑦野大野立石から観る屋久島の眺望

東岸の高台から望む屋久島は、その姿を間近に見ることができ、迫力が感じられます。また薄っすら雪化粧をした屋久島連峰の光景、夜に点在するサバ釣り船の漁火や街あかりの夜景も絶景です。



⑧島間小学校からの眺望

南種子町の玄関口であり、伊能忠敬の種子島測量開始の地としても知られる『島間港』を眼下に、遠くには屋久島連峰が広がる絶景地です。



南 種 子 町 の 施 設

■ 福祉センター

町のふるさと祭をはじめ、生涯学習大会・成人式・講演会などの催物が開催されます。

また普段は、舞踊やコーラスやバンドなどの練習会場としても利用されています。



《お問合せ》役場 保健福祉課 福祉年金係

(TEL 26-1111)

*使用については、お問い合わせください。

【休館日】 12月28日～1月4日

■ 研修センター

小会議室が1階と2階にそれぞれ2室ずつ、大会議室が2階に1室あり、各種団体の会議・研修・講座等に使用されています。



《お問合せ》役場 総務課 行政係

(TEL 26-1111)

*使用については、お問い合わせください。

■ 南種子町中央公民館

本館は、地域コミュニティの拠点施設として、平成24年4月に旧南種子高等学校跡に設置され、館内には郷土館・埋蔵文化財センター・図書館・上中児童クラブ等が配置されています。



《お問合せ》役場 社会教育課（TEL 26-1111）

上中児童クラブ（TEL 26-0663）

【開館時間】 午前8時30分～午後10時

【休館日】 12月28日～1月3日

■ 南種子町郷土館

館内には、南西諸島現役最後の丸木舟や平成10年に開催された『英国祭 トンミーフェスティバル』のテーマソング依頼がご縁で交流が始まった偉大な作曲家で指揮者の『山本直純』氏の貴重な寄贈資料等が展示されています。



また、南種子町は民俗芸能の宝庫であり、秋の願成就祭（収穫感謝祭）で奉納される郷土芸能のビデオ等も視聴できます。

《お問合せ》南種子町郷土館（TEL 26-1111）

【開館時間】 午前9時～午後5時

【休館日】 月曜日・第4金曜日（資料整理日）

12月28日～1月4日

【入館料】 無料

■ 南種子町埋蔵文化財センター

平成29年4月1日に開館した、南種子町の埋蔵文化財を収蔵・展示する施設です。埋蔵文化財とは、昔の人の生活跡（遺跡）や土器・石器のような遺物の総称です。

体験学習や学習教材もそろえておりますので、郷土の歴史教育にぜひご活用ください。



《お問合せ》南種子町埋蔵文化財センター（TEL 26-1111）

【開館時間】 午前9時～午後5時

【休館日】 土曜日～月曜日・祝日・12月28日～1月4日

【入場料】 無料

■ 南種子町立図書館

町民に開かれた親しみやすい図書館を目指し、読書ボランティアグループや高校生読書ボランティアグループと連携し、保育園や学校訪問読み聞かせなど読書推進活動も積極的に行っています。

館内には、約3万冊の蔵書のほか、インターネットの無料開放も実施しています。本が読みたくなった人、ゆっくりとくつろぎたい人は、ぜひ、気軽にお越し下さい。



《お問合せ》南種子町立図書館（TEL 26-6690）

【開館時間】 午前10時～午後6時

【休館日】 月曜日・第3日曜日
12月28日～1月4日

【入館料】 無料

■ たねがしま赤米館

遠く神々の時代、玉依姫(たまよりひめ)によって伝えられたという『赤米』の伝説、そんな聖なる赤米のルーツや今なお行われている『赤米のお田植祭』などについて、わかりやすく解説しています。



また、館内では映像ミニシアターによる『南種子浪漫紀行』を上映し、南種子の見どころや芸能、行事等をビデオで紹介しています。

《お問合せ》たねがしま赤米館 (TEL 26-7444)

【開館時間】 午前9時～午後5時

【休館日】 水曜日・12月28日～1月4日

【入館料】 無料

■ 広田遺跡ミュージアム

広田遺跡ミュージアムは、国史跡「広田遺跡」と国の重要文化財を収蔵・展示する施設で、平成27年3月1日に開館しました。絡み合う帯状の文様を彫刻した美しいアクセサリーを、ぜひ一度ご覧ください！



また、勾玉・貝殻アクセサリーづくり等の体験学習も行っています。

《お問合せ》広田遺跡ミュージアム (TEL 24-4811)

【開館時間】 午前9時～午後5時

【休館日】 月曜日(祝日の場合は翌日)・12月29日～1月3日

【入館料】 中学生以下(無料)・高校生以上(300円)

■ 国史跡「広田遺跡公園」

広田遺跡公園は、国史跡「広田遺跡」の保存・活用を目的につくられました。人骨が埋葬された場所には白い標柱が建てられ、当時の埋葬状況がうかがえます。



また、広田遺跡公園に隣接して、国の重要文化財を収蔵・展示する「広田遺跡ミュージアム」も設置されています。

《お問合せ》 広田遺跡ミュージアム (TEL 24-4811)

■ 農業者トレーニングセンター

バレーボールコート2面、バドミントンコート5面の他、各種スポーツ・イベントに使用できます。駐車場・トイレが完備されています。



《お問合せ》 役場 社会教育課

(TEL 26-1111)

【開館時間】 午前8時30分～午後10時

【休館日】 12月28日～1月4日

【使用料】 使用面積によって異なりますので、お問い合わせ下さい。

■ 前之峯陸上競技場

300Mトラックフィールドは天然芝になっており、ゲートボール及びグランドゴルフなどができます。

また、トラックの外周は雨天時でも使用可能です。駐車場・トイレが完備されています。



《お問合せ》役場 社会教育課

(TEL 26-1111)

【開館時間】午前8時30分～午後10時

【使用料】 無料

■ 健康公園

野球場・多目的広場（サッカー場1面）・芝生広場になっており、誰もが広範囲にわたって使用できます。

（野球場と多目的広場はナイター設備有り）駐車場・トイレが完備されています。



《お問合せ》役場 社会教育課 (TEL 26-1111)

【開園時間】午前8時30分～午後10時

【休園日】 12月28日～1月4日

【使用料】 多目的広場 照明使用時のみ1時間：440円

野球場（昼間）1時間：220円

（夜間）1時間：1,870円

■ テニスコート

人工芝によるテニスコートです。コート数は6面で、内3面はナイターが設置されており、夜間も使用できます。

また、正月 1/1～1/3 は、コートの無料開放も行っています。



《お問合せ》役場 社会教育課 (TEL 26-1111)

【開場時間】 午前8時30分～午後10時

【休場日】 12月28日～1月4日

【使用料】 平日 440円 (1面1時間)

土曜日 550円 (1面1時間)

日曜日・祝日660円 (1面1時間)

照明使用料は上記の金額に330円追加

■ ゲートボール場

前之峯陸上競技場に隣接しており、天然芝によるコートです。設備・駐車場・トイレが完備されています。



《お問合せ》役場 社会教育課

(TEL 26-1111)

【開場時間】 午前8時30分～午後10時

【休場日】 12月28日～1月4日

【使用料】 無料

■ 相撲場

農業者トレーニングセンターに隣接しており、誰でも利用できます。



《お問合せ》役場 社会教育課

(TEL 26-1111)

【開場時間】午前8時30分～午後10時

【休場日】12月28日～1月4日

■ クラブハウス

相撲場に隣接しており、シャワー室・トイレ・会議室等を備えた施設です。スポーツ後に汗を流したり、大会等の打ち合わせ会議や練習後の休憩等に利用できます。



《お問合せ》役場 社会教育課 (TEL 26-1111)

【開場時間】午前9時～午後10時

【休場日】12月28日～1月4日

【使用料】 無料

■ 武道館

柔道が利用しています。

《お問合せ》役場 社会教育課

(TEL 26-1111)

【開場時間】午前8時30分～午後10時

【休場日】12月28日～1月4日

【使用料】 通常1時間：110円

照明使用時のみ1時間：220円



■ 自然の家

豊かな自然の中で、集団生活や野外活動などを通じて自然とふれあい、人間相互のふれあいを深め、心身ともに健やかに育つことを目的とした青少年研修施設です。

宿泊学習室や体育館運動場・炊飯等・温水シャワー・五右衛門風呂・空調等を完備し、ニュースポーツの用具やキャンプ用具も常備しています。



《お問合せ》役場 社会教育課（TEL 26-1111）

【休館日】 12月28日～1月4日

* ご利用される方は、事前に社会教育課へお問い合わせください。

■ 南種子町観光物産館 「トンミー市場」

地元のお客様をはじめ、観光でお越しのお客様も気軽にご利用できる「ふるさとの味・品」を揃えた「南種子町観光物産館 トンミー市場」が平成26年11月3日にオープンしました。

市場では、南種子町の農林畜産物・特産品・加工品・民芸品・手芸品などを直売またはネット販売いたします。



《お問合せ》南種子町観光物産館「トンミー市場」

（TEL 26-2444）

【営業時間】 午前8時30分～午後6時

【休業日】 12月31日～1月3日

■ 公立種子島病院

《お問合せ》

(TEL 26-1230)

【受付時間】

* 7時30分～16時

* 水曜日は7時30分～12時

【診療時間】

* 8時30分～17時

* 水曜日は午後休診

8時30分～12時

【診療科目】

外科・内科

リハビリテーション科

眼科 (月曜日・火曜日 月2回)

耳鼻咽喉科 (毎週木曜日)

整形外科 (毎週火曜日)

消化器外科 (毎週火曜日・水曜日)

小児科 (毎週火曜日午後・毎週木曜日午後)

【休診日】

土曜日・日曜日 (当番医の場合を除く) 祝日

8月13日～ 8月15日

12月29日～ 1月 3日



■ とうげ歯科医院

《お問合せ》

(TEL 26-0019)

【診療時間】

(平日) 午前9時～午後6時

(土曜日) 午前9時～午後1時

【診療科目】 歯科一般・小児歯科

口腔外科

【休診日】 日曜・祝日



■ 河内温泉センター
《お問合せ》
(TEL 26-2510)
【開場時間】
午前10時～午後9時
【休館日】
毎週火曜日
12月31日～1月1日



■ 清掃センター
《お問合せ》
(TEL 26-6221)
【開場時間】
(午前) 8時30分～12時
(午後) 1時～4時30分
【休場日】
日曜日
12月31日～1月3日



■ リサイクルセンター
《お問合せ》
(TEL 26-2003)
【開場時間】
(午前) 8時30分～12時
(午後) 1時～4時30分
【休場日】
日曜日
12月31日～1月3日



南種子町文化協会・体育協会の紹介

町文化協会	種別	町体育協会
歌 漣	音 楽	柔道 連盟
古市ピアノ教室	〃	剣道 連盟
南種子町なつメロ同好会	〃	相撲 連盟
カラオケ同好会	〃	陸上 連盟
南種子カラオケ同好会	〃	軟式野球 連盟
水溜邦哉カラオケ教室	〃	ソフトボール 連盟
コール「さんだんか」	〃	サッカー 連盟
HONACA AFRICA	太 鼓	卓球 連盟
仙田流「須美啓会」	舞 踊	テニス 連盟
春日流「さつき会」	〃	ソフトテニス 連盟
松本流「翠松会」	〃	バドミントン 連盟
ダンススクール「ひまわり」	ダンス	バレーボール 連盟
ベリーダンス「ANNA」	〃	バスケットボール 連盟
タヒチアンダンス 「HERE MOANA NUI」	〃	ゲートボール 連盟
フラダンス アロハ マイレ	〃	グランドゴルフ 連盟
ストリートダンス スタジオ 「JAM」	〃	ゴルフ 連盟
ダンスサークル「アイリー」	〃	サーフィン 連盟
しまこい南種子	〃	
平山文化保存会	郷土芸能	
南種子美術同好会	美 術	
日本習字「曙支部」	書 道	
パッチワーク同好会	手 芸	
陶芸愛好会	陶 芸	
池坊「梶田社中」	生け花	
源三郎文学同人会	文 学	
南種子町地名研究会	地名研究	

新生活運動のご案内

新生活(コミュニティづくり)運動で 明るく豊かで 住みよい郷土を！

《 新生活運動目標 》

- * 地域・共同社会づくりを勧めましょう！
- * 資源とエネルギーを大切にしよう！
- * 社会生活のルールを確立しよう！
- * 青少年の健全育成につとめよう！

《 冠婚葬祭等の簡略化 》

①結婚披露宴

- *結婚披露宴は5000円の会費制とし、祝儀袋に包まず裸銭としましょう。
- *披露宴の料理等については制約しません。(当事者に任せます)
- *記念品(引き出物)はしません。
- *参加者は200人を標準に、極端に多人数にならないようにしましょう。
- *披露宴は、3時間以内としましょう。
- *自宅での宴会は、親戚のみとしましょう。
- *案内状に新生活運動の趣旨書を同封しましょう。
(趣旨書は、教育委員会の社会教育課にあります。)

②落成祝賀会・お祝い等

- *落成祝賀会は5000円会費制とし、祝儀袋に包まず裸銭としましょう。
- *その他、各種お祝い等の祝儀は3000円以内で簡素にしましょう。
- *記念品その他のお返しはしません。
- *案内状に新生活運動の趣旨書を同封しましょう。
(趣旨書は、教育委員会の社会教育課にあります。)

③葬祭(葬式・年忌祭)

- *香典は2000円以内とし、お返しについては、過分にならないように心がけましょう。
- *花輪、装飾、供物等はなるべく差し控えましょう。
- *近親者以外の飲み食いを全廃し、折詰・菓子等は廃止しましょう。

④見舞い(病氣・ケガ等)

- *過分にならないように心がけましょう。
- *見舞いに対するお返しはしません。

■ 町 民 憲 章（昭和50年1月制定）

私たち南種子町民は 郷土の自然と 伝統を愛し 人情豊かな町をつくります

私たち南種子町民は いつも希望をもって まじめに働き 楽しい家庭 平和な町をつくります

私たち南種子町民は きまりを守り 教養を高めて 明るい文化の町をつくります

■ 南種子町 町民歌（昭和37年9月制定）

《作詞・作曲》岩坪 巖

1. 山紫に水清き 南の楽土この里に 今鳴り渡る明けの鐘
見よや東海の明けの空 心のまなこを開けよと
希望あふるる 南種子
2. 三千石の名に恥ぬ 豊かに稔る浦々よ 黒潮寄する南風
受けて伸び行くキビ畑 これぞ南の生命線
希望わき立つ 南種子
3. 都の花にあこがれて 出で行く人も多けれど 我らは守るこの郷土
進む文化に遅れじと 力合わせてふるい立つ
希望燃え立つ 南種子
4. ああ君聞けや門倉の 逆まく波の語らいを 星霜すでに幾百年
鉄砲伝えし物語 回る灯台赤々と
希望輝く 南種子
5. 循環線を走り行く 観光バスは華やかに 行く春惜しむホトトギス
ああ南の海の色 大漁の旗おし立てて
希望果てなし 南種子



■ 町章

平和の象徴の『ハト』の上に南の字を図案化したもので、平和と大空にはばたき、躍動躍進する南種子町を表しています。(昭和37年9月制定)



■ シンボルマーク

南種子町のイニシャル『m』をモチーフに、豊かな自然とロケットをイメージしており、飛躍発展する南種子町を表しています。(平成9年4月制定)



■ キャラクターマーク《 宙太くん 》

ヘルメットに南種子町のイニシャル『M』のマークをつけ、アンテナは火縄銃にしており、全体的にロケットと宇宙をイメージしたものです。



■ 町花《 サندانカ 》

一見、大輪の花のように見えますが、実は小さな花卉の集まりであり、私たちの町も、町民一人ひとりが力を出し合い美しい町をつくる・・・というそんな願いが込められています。(昭和41年6月制定)



■ 町花《 ハイビスカス 》

南国らしさの象徴であるハイビスカスは、新緑の葉に鮮やかな真紅や黄色の原色、一重や二重の華麗な花を咲かせます。(平成10年11月制定)



■ 町木《 ヤマモモ 》

町内のいたる所に自生するヤマモモの木は、6月上旬にたくさんの実をつけ、自然の恵みを与えてくれます。(昭和61年10月制定)